

## 平成28年度事業報告について

1. 平成28年4月2日
  - ・平成28年度の短期大学の入学式が、厳かな雰囲気の中で挙行された。
2. 平成28年4月7日
  - ・午前10時より高等学校、午後1時より大分県歯科技術専門学校の入學式が挙行された。
3. 平成28年4月16日
  - ・午前1時30分ごろ、熊本・大分地震が発生し、学園周辺は震度6弱の揺れに見舞われた。該当部門においては、学生、生徒等の安全とりわけ高校生、留学生の避難行動、安否確認等を行いながら、校舎等の被害調査、今後の対応策を検討した。
4. 平成28年4月18日
  - ・熊本・大分地震を受けて、学園の危機管理対策委員会を開催した。
5. 平成28年4月20日
  - ・「橘寮」の被災が激しかったことから、寮生（高校生）が移転を余儀なくされ、その移転先として「ハートピア明礬」と賃貸借契約を締結した。
6. 平成28年4月21日
  - ・地震の影響で短期大学の留学生を中心に、宿泊施設「ゆるり」との賃貸借を開始した。
7. 平成28年4月27日
  - ・(株)大有設計に依頼し、耐震診断未了の5物件について緊急診断（コア抜き）調査を開始した。なお5月13日に調査が完了し、理事長に報告を行った。
8. 平成28年5月16日
  - ・高校生が仮住いしている「ハートピア明礬」について、経費負担が大きいため「太陽の家」住宅への移転交渉を行った結果、快く引き受けて頂いた。

9. 平成28年5月20日

- ・5月20日から24日まで溝部 仁理事長・学長、溝部 佳子副学長、松浦 倫教授、里中 玉佳准教授の4名が、中国の瀋陽師範大学創立65周年記念式典、教育国際化フォーラムに招かれ、出席した。  
溝部 仁理事長・学長が式典でスピーチを行い、溝部 佳子副学長とともに学内へ植樹の機会を頂いた。

10. 平成28年5月27日

- ・役員、評議員の改選、理事長および常務理事選任、平成27年度事業報告、平成27年度決算、平成28年度事業計画、平成28年度補正予算、隣接地購入に伴う借入れ、についての承認に関する理事会、評議員会を開催した。また、本日付で平成27年度における資産の変更登記も完了した。

11. 平成28年5月30日

- ・高校の看護専攻科の学生2名について、橘寮の移転先を探していたところ、国立別府病院附属看護学校が、引き受けてくれることとなった。

12. 平成28年6月23日

- ・学園隣接地の物件（土地、建物）について、豊和銀行亀川支店で学校法人 文理学園と154,500千円で売買取引を行った。なお、同行より150,000千円（金利0.5%）の手形借入を行った。

13. 平成28年7月5日

- ・短期留学生（短期大学）21名の入学式が記念館会議室で行われた。

14. 平成28年8月3日

- ・地震で被災した大分県歯科技術専門学校の校舎等について、大分県庁2階の会議室で厚生労働省、財務省によるヒアリングが行われ、学園からは兼田事務局長と林補佐が対応した。

15. 平成28年8月9日・10日

- ・地震で被災した高等学校の校舎等について、県税事務所（別府）の会議室で文部科学省（2名）、財務省（1名）によるヒアリングが行われ、学園からは兼田事務局長と林補佐が対応した。

16. 平成28年9月7日

- ・日本私立学校振興・共済事業団 融資部より2名が来校し、橘寮の改築事業について融資相談が行われた。

17. 平成28年9月9日

- ・本学第2回目となる留学生の秋卒業式が挙行政され、25名が卒業した。

18. 平成28年9月13日

- ・本学記念館会議室で、鹿児島女子短期大学との相互評価が行われた。

19. 平成28年9月15日

- ・教授会終了後、FD、SD研修会が実施された。

20. 平成28年9月22日

- ・学園の部門を越えたメンバーで、大分スポーツ公園で開催された「第30回大分リレーマラソン」に4チーム参加し、全チームとも完走した。なお、最速チームの総合順位は22位で当日賞を受賞し、タイムは2時間49分54秒で部門別順位は5位の好成績であった。

21. 平成28年9月26日

- ・留学生の秋入学式が挙行政され、中国学生17名、スリランカ学生12名、ネパール学生3名、サモア学生1名の計33名が入学した。

22. 平成28年10月7日

- ・学校法人 溝部学園と株式会社 豊和銀行は、地域を中心とした連携協力について、学園の記念館会議室で協定を締結した。

23. 平成28年10月11日

- ・初代理事長 故 溝部 みつえ先生を偲んで、学園を挙げて頌徳式が実施された。

24. 平成28年10月18日

- ・平成28年度の学園全体の総合防災訓練を実施し、学生、生徒、園児に教職員を含め、約1,200名の参加があった。今回は先の熊本・大分地震を教訓に、第一避難場所は運動場に設定、その後各部門が分散して、耐震上問題のない建物避難を行った。

なお避難建物までの経路、避難場所までの所要時間等については、各部門の担当者が指導、把握に努め、次回以降の反省点の整理も行い、実践的で有意義な訓練であった。

25. 平成28年10月18日・19日

- ・地震で被災した高等学校の校舎、幼稚園の園舎等について、県税事務所（別府）の会議室で文部科学省（2名）、財務省（1名）によるヒアリングが行われ、学園からは兼田事務局長と林補佐が対応した。

26. 平成28年10月25日

- ・地震で被災した幼稚園の園舎等について、大分県市町村会館（大分）の会議室で厚生労働省（2名）、財務省（1名）によるヒアリングが行われ、学園からは兼田事務局長と林補佐が対応した。

27. 平成28年11月5日

- ・短期大学の介護福祉学科が、第13回「ふくし・ふれ愛ひろば」を開催し、高校生28名、学内関係者7名の計35名が参加し、介護を志す若者を対象としたことで、大盛況を博した。

28. 平成28年11月12日

- ・短期大学の食物栄養学科が、第9回「お弁当コンテスト」を開催し、書類審査を通過した大学生、高校生を対象に10チーム約48名が参加した。今回は「大分おもてなし弁当」と題した作品であり、多数の力作が出品された。なお、平成29年1月28日には、留学生、地域の方々も参加して、第20回「お魚さばき講座」も開催した。

29. 平成28年12月1日

- ・短期大学の幼児教育学科が第36回「子どものためのミュージックカーニバル」を開催し、オリジナルストーリーの『シンデレラ』を主演目として大分（12月1日）、別府（同3日）の2会場で上演、超満員の会場の園児に大好評を博した。

30. 平成28年12月9日

- ・橘寮の改築事業に関する解体工事、建設工事の入札を行った。

両工事とも各々3社の入札があったが、解体業者は「有限会社 原はつり工業」、建設業者は「株式会社 佐伯建設」に落札した。いずれも最安値の落札価格であった。

31. 平成28年12月19日

- ・橘寮の改築事業に関する融資に関して、溝部理事長、佐藤校長、兼田事務局長の3名で、日本私立学校振興・共済事業団を訪問した。理事長が現在の被災箇所の復旧状況等を説明した結果、融資に関して前向きな回答が得られた。

32. 平成29年1月17日

- ・地震で被災した幼稚園の園舎等について、大分県税事務所（別府）の会議室で文部科学省（2名）、財務省（1名）により、前回からの継続分のヒアリングが行われた。

33. 平成29年1月27日

- ・橘寮の耐震改築工事に係る起工式が溝部理事長・学長、小野大有設計社長、川崎佐伯建設社長ほか関係者21名出席のもと、厳かに執り行われた。

34. 平成29年1月31日

- ・大分県福祉保健部（2名）、大分県東部保健所（1名）が、幼保連携型認定こども園 ひめやま幼稚園に、監査に入った。特段問題はなかったが、8項目に亘る指導項目が示された。

35. 平成29年2月1日

- ・平成28年11月5日から約3か月間かけて改修工事を行っていた、85年館3階の屋内温泉プールが完成し、完成セレモニーを実施した。

36. 平成29年2月3日

- ・短期大学のライフデザイン総合学科が、第51回「ファッションショー」をホルトホール大分で開催し、好評を博した。また2月18～22日には、第16回「卒業制作、学生作品展2016」をアートプラザ（大分）で開催し、個性を重視した多彩な作品の発表、展示で観覧した方々を魅了した。

37. 平成29年2月13日

- ・地震で被災したセンタービルの建物について、文部科学省（2名）、財務局（1名）による現地での実地査定、ヒアリングが行われた。大分県私学振興班から2名の立会いがあった。

38. 平成29年2月14日

- ・九州短期大学協会の理事会、総会、定例会議が、ホテル 白菊（別府）で開催され、大盛況のうちに幕を閉じた。

39. 平成29年3月2日

- ・日本私立学校振興・共済事業団の平成27年度私立大学等経常費補助金に係る対象事業の実施状況等について、事業団より菊池助成部補助金課長ほか3名が来校し、調査が行われた。

40. 平成29年3月15日

- ・短期大学の卒業式が、厳かな雰囲気の中で挙行された。

41. 平成29年3月24日

- ・日本私立学校振興・共済事業団の融資業務に係る調査が行われ、事業団より融資部審査・管理室の小林室長ほか1名が来校した。  
小林室長は、「以前来校した時に比べ、学園がすばらしく発展しているので驚いた」との感想を述べられた。